

松浦ロータリークラブが 除草作業

不老山総合公園登山道のチューリップの除草作業を4月13日、松浦ロータリークラブが行いました。

同会の奉仕活動の一環として、昨年12月に植えた約3,000本のチューリップが見ごろを迎えた花壇で、会員など約20人が雑草取りなどの清掃活動で心地よい汗を流しました。

勝山善文会長は「公園に来られた方が少しでも楽しんでくれたらうれしいです。これからもいろいろな奉仕活動が続けていきたいです」と話していました。



満開の桜の下で「桜春祭り」

第16回福島桜春祭り(福島YOKA隊主催)が3月31日と4月1日の2日間、大山公園で開催されました。

大山公園のソメイヨシノや山桜などの約800本の桜が満開になるこの時期に、同公園をPRしようと毎年開催されています。

当日はあいにく悪天候で、プログラムは途中で中止となりましたが、ステージでは飛び入り参加のカラオケ大会や太鼓やフラダンスなどが披露され、集まった市内外の観客から拍手が送られていました。



交通ルールへの関心を高める

第31回パンダクラブ親子大会が3月29日、文化会館で行われました。

保育所・幼稚園などに通っていない未就学児の交通ルールへの関心を高めるために、市内7地区で毎月開催されているパンダクラブ。1年間の締めくくりに、各地区合同で毎年開催しています。

各代表者に修了証・記念品を授与した後、下道美宙ちゃん(志佐・里田原1、4)と宮原来実ちゃん(志佐・辻ノ尾、4)が「お約束を守り、みんな仲良くかけっこします」と選手宣誓を行いました。

この日は、パンダクラブの幼児やその保護者など約30人が参加し、体操やゲーム、かけっこなどのゲームを通して、交通安全への関心を高め、一年間の教室を締めくくりました。



市内各地で春の戦没者慰霊祭

4月4日から20日にかけて、市内各地で春の戦没者慰霊祭が行われました。

今年は、志佐・青島・御厨・今福・星鹿・調川・上志佐の7地区で行われました。

4日に行われた志佐地区戦没者慰霊祭(写真)には、遺族など約160人が参列。友広市長が「再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の確立と郷土発展に全力を尽くします」と慰霊のことばを述べました。また、参列者は黙とうなどを行い、戦没者の霊を慰めました。